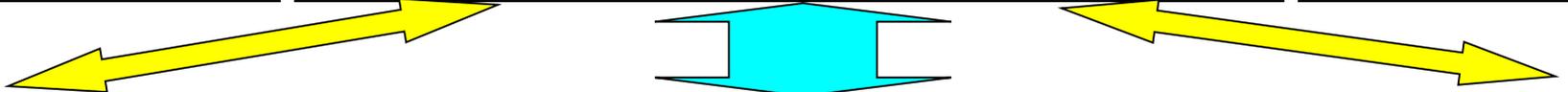


# 平成29年度 学力向上アクションプラン

A票

尼崎市立園田東小学校

<b>学力調査結果等から見た学力向上についての課題</b> ○ 全国調査の結果から見られる課題 (1) 各教科の状況 <算数>知識及び活用のどちらについても、平均正答率が県や全国の結果を若干上回り、一定の成果が出ている。しかし、分数の乗法計算や約分、図形の性質の利用等の知識面に課題があり、グラフの読み取り、理由の説明等において、昨年度同様、数学的に表現する力が不足している。 <国語>知識及び活用のどちらについても、平均正答率が県や全国の結果を少し下回っている。文章を書く力は備わっているが、文章の意図を捉えること、さらに、知識面で基本的な漢字の読み書きや文章を整理する力に課題が見られる。 (2) 質問紙調査 ・全体的に自尊感情が低く、達成感を味わった経験が少ない。宿題はしているものの、家で授業の復習やテスト勉強など、自学自習する児童の割合が低い。(予習、復習をしている:40%、36%)(自学自習をしている:56%) ・授業の内容がよく分かると回答[国72%、算84%] 国語の方に課題が見られる。	<b>課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)</b>			<b>本年度の具体的な目標</b> ○ 全国学力学習状況調査 (1)学力調査 ・平均正答率(全国平均+0.5ポイント以上) (2)質問紙調査(当てはまる+どちらかといえば当てはまる) ・予習、復習をしている(50%以上) ・授業の内容がよくわかる[国、算](85%以上) ○ 学校独自の生活実態調査 ・全校児童の70%の児童(98人)の学習時間を30分以上に引き上げる。 ○ 計算科の充実に努める。 ・チャレンジタイムを効果的に活用する。 ・4年全員6級合格。3年全員8級合格をめざす。 ○ 放課後学習参加率85%以上。 ○ 英語リスニング力(4~6年) ・児童英検ブロンズ程度合格圏通過率86%以上。
	<b>授業力向上への取組</b> 【アクティブ・ラーニング推進事業の活用】 ○ 大学教授を招聘して、言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力の育成に取り組む。 ○ 単元研究や指導方法の充実を図り、教員の指導力向上及び授業改善に取り組む。 ○ 先進校における取組内容の検証により、校内研究に生かし、教員の指導力向上に取り組む。 【授業補助支援員の活用】 ○ 1年の国語、算数の授業において、同室複数指導による学習規律や生活習慣の確立を図る。 ○ 2年、3年、4年の算数の授業において同室複数指導によるアクティブ・ラーニングの実現を図るとともに、支援が必要な児童に個別指導をする。	<b>学習習慣定着に向けた取組</b> 【学力定着支援事業の活用】 ○ 1年生から6年生を対象に、週2日(火・金)の放課後、算数や国語の基礎的な課題に取り組み、基礎学力の定着を図るとともに、学習習慣の確立に取り組む。(がんばり学習) ○ 毎日の宿題プリントを作成し、家庭学習及び基礎学力の定着を図る。 ○ 自主学習てびきを作成し、学校と家庭とが連携して自分で計画を立てて学習する習慣をつけるよう、家庭と連携して取り組む。 ○ 地域人材活用等により読書力の育成を図る。 ○ 漢字・計算等のチャレンジタイムを継続する。	<b>その他の取組</b> ○ 特色ある教育活動を推進する。小学校における外国語活動の充実と教員の指導力向上に向け、研修用映像教材の作成を行う。プロジェクト型単元開発、教材教具の開発に取り組む。(アクティブ・ラーニング推進事業) ○ 全学年で生活リズム運動に取り組み、基本的な生活習慣の定着に取り組む。 ○ 漢字・計算等のチャレンジタイムを継続する。 ○ 読書週間や読書タイム、25分休みにボランティアによる読み聞かせを行い、読書活動に意欲・関心を持たせる。(学力定着支援事業)	



<b>校種間連携</b> ○ 入学前テストの検証を踏まえた小中における授業研修を行う。 ○ 夏季合同研修会の実施 ・各教科分科会で小・中学校教員による研修を行う。 ○ 外国語活動研究授業公開 ・市内の小・中学校に呼びかける。 ○ トライやるウィーク期間中に一日、中学校体験を実施する。 ○ 中学校の出前授業。	<b>活用する支援内容</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>具体的内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)アクティブ・ラーニング推進支援</td> <td>○ 協働的な学びの創造(関西大学 今井 裕之教授(3回)) ○ 思考力・判断力・表現力・主体性の育成(プール学院大学 今宮伸吾准教授 2回)</td> </tr> <tr> <td>(2)先進校視察支援</td> <td>○ 兵庫県朝来市立生野小学校(愛知県岡崎市立本宿小学校:学校配当予算) 英語教育:決められたセリフのやりとりではなく、感じた気持ちを返せる会話授業</td> </tr> <tr> <td>(3)授業補助支援</td> <td>○ 1~4年で同室複数指導を実施し、支援が必要な児童に個別指導を行う。特に、1年生においては学習規律や学習習慣の確立を図る。</td> </tr> <tr> <td>(4)放課後等学習支援</td> <td>○ がんばり学習(放課後学習) 1~6年 2h×週2×25週 ○ 夏休みがんばり学習(夏季休業期間) 1~6年 2h×7回</td> </tr> <tr> <td>(5)学力定着支援</td> <td>○ 自主学習のてびき作成 ○ 学習支援に係る書籍購入</td> </tr> <tr> <td>(6)地域人材活用支援</td> <td>○ 地域ボランティア10人 ボランティアによる読み聞かせを行い、読書活動に意欲・関心を持たせる。</td> </tr> <tr> <td>(7)その他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	具体的内容	(1)アクティブ・ラーニング推進支援	○ 協働的な学びの創造(関西大学 今井 裕之教授(3回)) ○ 思考力・判断力・表現力・主体性の育成(プール学院大学 今宮伸吾准教授 2回)	(2)先進校視察支援	○ 兵庫県朝来市立生野小学校(愛知県岡崎市立本宿小学校:学校配当予算) 英語教育:決められたセリフのやりとりではなく、感じた気持ちを返せる会話授業	(3)授業補助支援	○ 1~4年で同室複数指導を実施し、支援が必要な児童に個別指導を行う。特に、1年生においては学習規律や学習習慣の確立を図る。	(4)放課後等学習支援	○ がんばり学習(放課後学習) 1~6年 2h×週2×25週 ○ 夏休みがんばり学習(夏季休業期間) 1~6年 2h×7回	(5)学力定着支援	○ 自主学習のてびき作成 ○ 学習支援に係る書籍購入	(6)地域人材活用支援	○ 地域ボランティア10人 ボランティアによる読み聞かせを行い、読書活動に意欲・関心を持たせる。	(7)その他		<b>家庭・地域との連携</b> ○ 学力向上アクションプランを明示する。 ○ 読書力の向上を図る。「家読」の取り組み。 ○ 自主学習てびきを作成し、学習習慣の定着を図る。 ○ 学力調査結果を公表し、家庭との連携を図る。 ○ 地域の教育支援人材の放課後学習への活用を図る。 ○ PTA連携事業を推進する。地域・保護者向け講演会の実施。 ○ 学校ホームページを月2回更新する。
支援内容	具体的内容																	
(1)アクティブ・ラーニング推進支援	○ 協働的な学びの創造(関西大学 今井 裕之教授(3回)) ○ 思考力・判断力・表現力・主体性の育成(プール学院大学 今宮伸吾准教授 2回)																	
(2)先進校視察支援	○ 兵庫県朝来市立生野小学校(愛知県岡崎市立本宿小学校:学校配当予算) 英語教育:決められたセリフのやりとりではなく、感じた気持ちを返せる会話授業																	
(3)授業補助支援	○ 1~4年で同室複数指導を実施し、支援が必要な児童に個別指導を行う。特に、1年生においては学習規律や学習習慣の確立を図る。																	
(4)放課後等学習支援	○ がんばり学習(放課後学習) 1~6年 2h×週2×25週 ○ 夏休みがんばり学習(夏季休業期間) 1~6年 2h×7回																	
(5)学力定着支援	○ 自主学習のてびき作成 ○ 学習支援に係る書籍購入																	
(6)地域人材活用支援	○ 地域ボランティア10人 ボランティアによる読み聞かせを行い、読書活動に意欲・関心を持たせる。																	
(7)その他																		